【第三十七号　二〇〇八年　一月　五日発行】

福音の園だより

平成十八年度「高年齢者雇用優良事業所　協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材紹介施設
介護保険事業者指定　一一七〇四〇一三八二
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
☎049-230-1111(FAX230-1112)

リスクマネジメントの視点から―当園方針説明

望ましいケアプランを目指して

グループホーム福音の園・川越　ホーム長　杉澤　卓巳

十六年前、勤務先の特別養護老人ホームで短期入所(ショートステイ)を担当していた。当時は、まず市役所へ利用登録しておき、その都度利用希望日時を申請する。担当者から市内各施設宛、空き状況等の照会後に利用できた。市内A町から初老の男性が短期入所された。ホーム玄関で妻を見送った男性は落ち着かなくなり、居室と玄関を何度も往復された。私は事務室窓口で対処していた。しばらくして男性の所在不明が事務室へ報告された。業者が工事のため開放していた庭側フェンスから無断外出したことが判明。全職員が招集され、捜索開始した。

本人顔写真入りチラシを印刷するため、家族へ問い合せたところ、新事実が次々と判明した。認知症ゆえ、外出先から帰宅できなくなり、ある時などは東松山市内で発見保護されたこともあったと云う。注意事項が沢山あったのに、正直に申告したら利用できないのではという負い目が家族にあったのだ。市役所も十分な本人情報を施設側へ通知できなかった点を痛感し、旧高齢者福祉部長さんが連日の捜索に協力下さった。一週間後、河川合流地点で釣り人により水死体で発見された。幾つものマイナス要因が重なっての死亡事故だった。悲しみに暮れるご家族関係者に、私たちは再発防止をお約束した。

※　※　※　※　※　※　※

昨年十月三十一日「川越市実地指導」、十一月十二日2回目の「サービス外部評価訪問調査」席上、次の質問内容と、当園取り組み状況回答に苦慮した。

【自己評価項目38・外部評価項目29】

○鍵をかけないケアの実践　入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてもすむような配慮をしている。やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明している。(外出の察知、外出傾向の把握、近所の理解・協力の促進等)

〈項目のねらい〉　自分の行動をコントロールされる理由や規則を理解することがむずかしい認知症の人にとって居場所に鍵をかけられ、自由に外へ出られないことによる心理的な抑圧感や不安、憤りは大きく、それに加えてあきらめや気力の消失ももたらされていく。

入居者の安全を追及しながら自由な暮らしを支える取り組みを真剣に行っているか確認しよう。「危ないから」「不審者進入防止のために」鍵をかけるという対処が当然のようになされていないか、ホームの立地条件や入居者の状態像を考慮しつつ鍵をかけないで対応する工夫を常に行っていくことが求められている。『認知症介護研究・研修東京センター』

「鍵をかけないケアの実践」は理想的で、ケアマネジメントの視点から見ても大いに賛同できる。

しかし、「望ましいケアプラン(介護サービス計画)は、ケアマネジメントとリスクマネジメントがバランス良く調和された時に初めて達成される。」ことを実践経験から確信する一人として、いまだ「鍵をかけないケアの実践」には至っていないことを情報開示したい。今後も実践できないだろう。

「安心・安全・充実」を目指して

リーダーの責務は、理想を語ることではなく、理想を実現することである。リスクマネジメントは、予測を取り入れた手遅れにならないための判断技術であり、認知症高齢者共同生活介護においては、スタッフの個人能力や裁量に依存しない形で一定レベルを保持することが目標となる。入居者十八名のうち、最重度「介護度5」五名他、行動障碍(徘徊癖)利用者をお世話する当園の現状に見合ったレベルのリスク分析を行った時、とても「鍵をかけないケアの実践」には踏み切れない。

鍵のかかった玄関の前に立つご利用者の不安はいっときであるのに対し、不幸にして死亡事故に至った際のご家族の悲しみ、スタッフの痛恨、事業所としての社会的信用失墜は半永久に続く。

指摘される「心理的な抑圧感や不安、憤りは大きく、あきらめや気力の消失ももたらされていく」現実を直視し、だからこそ確かな援助技術に基づいた「心に触れる優しい支援の実践」、福音に基づいた「希望への支援の実践」を運営理念として、日々「生活作りのお手伝い」「動きたくなる環境作り」「園芸療法活動」「音楽療法活動」を通して、お一人ひとりのケアプランが「安心・安全・充実」したものとなりますよう、専心してまいります(祈り)。

御礼

柿・Y・E様、リンゴ・H・S様
リンゴ・K・I様、リンゴ・A・I様